

氏名	由良 敬 YURA Kei
所属 職名	人間文化創成科学研究科先端融合系 教授
学位	博士（理学）/PhD
専門分野	計算生物学／Computational Biology・構造バイオインフォマティクス／Structural Bioinformatics・生物
URL	http://cib.cf.ocha.ac.jp/yuralab/index.html
E-mail	yura.kei@ocha.ac.jp

研究者キーワード / Keywords

計算生物学
構造バイオインフォマティクス
生物物理学
タンパク質立体構造科学
分子進化学

Computational Biology
Structural Bioinformatics
Biophysics
Protein Structure Science
Molecular Evolution

主要業績

Hijkata, A., Yura, K., Noguti, T., Go, M. (2011) Revisiting gap locations in amino acid sequence alignments and a proposal for a method to improve them by introducing solvent accessibility. *Proteins: Structure, Function, and Bioinformatics*, in press.

由良 敬（分担執筆）(2010) 「タンパク質の立体構造入門：基礎から構造バイオインフォマティクスへ」（藤博幸 編集）第1章 タンパク質構造の基礎、講談社 pp. 1-17.

由良 敬 (2010) 「タンパク質の構造から機能を推定する：構造バイオインフォマティクス」、*化学と生物*, 48(1), 43-50.

研究内容 / Research Pursuits

当該研究者はコンピュータが持つ計算力と無限の想像力を用いて、以下のテーマの研究（Computational Biology）を展開しています；真核生物の転写後RNA修飾機構（スプライシング、RNAエディティング）、*Deinococcus*属がもつ放射線抵抗性機構の解明、高精度ホモロジーモデリング法とモデル構造データベースの開発、電子顕微鏡単粒子解析像からの原子分解能超分子構造導出法開発、生体高分子間相互作用部位と相互作用構造推定法の開発、DNA修復関連タンパク質のデータベース開発、タンパク質の構造からタンパク質の機能を推定する方法の開発など

This researcher is approaching the following topics based on the computation power and his imagination power; Mechanisms of RNA modification in Eukaryotes (splicing and RNA editing), Elucidation of radiation resistance mechanisms of *Deinococcus* genus, Com

■ 教育内容 / Educational Pursuits

過去10年間に、ヒトをはじめ様々な生物のゲノムすべてを読み取ることができるようになりました。これらの分子生物データを解析・解釈することで、生命現象の理解が大きく進歩するはずですが。当該教員が担当する「生命情報学」はこれら大量データを解析するために、物理学、化学や情報科学を生命科学に導入して生まれてきた学問です。当該教員は、生命情報学の歴史、生命情報学が扱うデータの概要、生命情報の解析方法、および生命を情報からとらえたときにどのようなことがわかるのかを学部と大学院で教育しています。担当授業においては、いずれも予備知識は必要としていません。必要な物理学、化学、情報科学は、授業内でできるだけ説明するようにします。これらの授業で基礎を身につけた学生のうち、さらに興味がある学生は当該教員の指導の元で特別研究（卒業研究・博士論文研究）ができます。当該教員の研究室は理学部共同設置ですので、どの学科に所属している学生であっても卒業研究ができます。

Genome sequences of major species were read in the past ten years and we are facing with a vast amount of nucleotide sequence data. The data may contain whole information to understand biological phenomena, but we cannot decipher the sequences. This staf

■ 研究計画

現在の研究は、細胞内の遺伝情報伝達形式の各ステップを明らかにするためにすすめている。これらがある程度わかるようになれば、細胞全体で遺伝情報が物理的にどのように実体化するのかを見ることができるようになるはずですが。コンピュータ内での細胞再構成も不可能ではないと夢見ている。タンパク質がどのようにしてDNAからmRNAの情報を抽出するのか？タンパク質がどのようにしてRNAを加工するのか？などが明らかになることは、それらのタンパク質をどのように（どのような低分子で）制御することができるかを見いだす研究とも直結している。基礎的な構造バイオインフォマティクス、およびこのような応用の側面における共同研究は大歓迎である。

■ メッセージ

Natural phenomenon is not separated based on the intellectual disciplines. The current intellectual disciplines (physics, chemistry, biology, mathematics, ...) are based just on arbitrary boundaries set by ancient people. New people working in the interdisciplinary fields are now in high demand who can decipher questions not solved by the old disciplines. To adapt to the coming era, we are required to have a solid background in one of the old disciplines and understand others. Study hard in one of the classic fields you are good at and always have keen interest in other fields. Good luck.